

2026年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：マクロ経済学特論		専修：経済専修
担当教員名：木立 力		科目区分：展開科目
<p>授業科目概要：</p> <p>GDP、雇用、経済成長、インフレ、デフレの要因など、経済全体の集計量を分析する分野がマクロ経済学である。教科書に沿って講義する。出版年がやや古いのでデータなど新しい内容を適宜補充する。</p>		
<p>履修上の留意事項：</p> <p>二神・堀の教科書は大学院入試準備に最もよく使われている。ということは標準的で学部上級レベルであり、入門書ではない。(海外では大学院初級)。マクロ経済学の入門書を事前に読んでおく必要はないが、ミクロ経済学の基礎知識がある程度前提とされる。(ミクロ特論1は履修済のこと)。パワーポイントを用いて講義形式で行うが、おそらく予習しないで聴くだけだと理解できない。しかしかなり時間を割いて予習し練習問題も解ければ、現実のマクロ経済の分析方法が身につく。</p>		
教科書・参考書 (参考文献)		
書名 : 『マクロ経済学 第2版』 著者／編者 : 二神孝一・堀敬一 出版社 : 有斐閣 出版年 : 2017	書名 : 著者／編者 : 出版社 : 出版年 :	
書名 : 著者／編者 : 出版社 : 出版年 :	書名 : 著者／編者 : 出版社 : 出版年 :	
書名 : 著者／編者 : 出版社 : 出版年 :	書名 : 著者／編者 : 出版社 : 出版年 :	
ディプロマ・ポリシー (DP) との関係		
DP1	DP2	DP3
○		
<p>到達目標：</p> <p>マクロ経済学の主要指標についての理論を理解し、日本や世界のマクロ経済への視点を持つ。</p>		
<p>評価方法及び評価基準：</p> <p>A評価：章末の練習問題に解答でき、現実のマクロ経済の理解に応用できること。</p> <p>B評価：章末の練習問題に解答できること。</p> <p>C評価：章末の練習問題のうち基礎的なものに解答できること</p>		

授業の方法： 各章の内容を講義し、マクロ経済への応用例を示す。章末の問題を解く。	
第1回	テーマ：国民経済計算 内 容： 教科書 第1章
第2回	テーマ：家計の消費・貯蓄行動 内 容： 教科書 第2章
第3回	テーマ：企業の設備投資行動 内 容： 教科書 第3章
第4回	テーマ：資産市場 内 容： 教科書 第4章
第5回	テーマ：貨幣と銀行行動 内 容： 教科書 第5章
第6回	テーマ：閉鎖経済の長期の経済分析 内 容： 教科書 第6章
第7回	テーマ：開放経済の長期の経済分析 内 容： 教科書 第7章
第8回	テーマ：経済成長の理論、ソローモデル 内 容： 教科書 第8章
第9回	テーマ：経済成長の理論、内生的成長モデル 内 容： 教科書 第9章
第10回	テーマ：労働市場 内 容： 教科書 第10章
第11回	テーマ：閉鎖経済での短期の経済分析 内 容： 教科書 第11章
第12回	テーマ：開放経済での短期の経済分析 内 容： 教科書 第12章
第13回	テーマ：財政政策 内 容： 教科書 第13章
第14回	テーマ：金融政策 内 容： 教科書 第14章
第15回	テーマ：演習など 内 容：